



令和2年度、皆様のご協力に感謝いたします

突然の臨時休校から始まった令和2年度でしたが、本日、無事、終わることができました。34名のたかくらっ子達は、新型コロナウイルスという困難を乗り越えながら、しっかりと成長しました。むしろ、私達大人が、何度も子ども達の明るく前向きな姿に励まされたように思います。

ここまでたどり着くことができたのも、保護者や地域の皆様のおかげです。皆様の支えに、衷心より感謝いたします。引き続き、次年度も変わらぬご理解とご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



6年生9名、胸を張って卒業！

本日、3月23日。6年生9名が、高倉小学校を卒業しました。練習の段階から、6年生は常に意識を高くもって臨んでいました。そんな6年生の姿に応えようと、1～5年生も毎日のように歌や呼びかけの練習をがんばってきました。

思い起こせば、今年度は、新型コロナウイルスに係る臨時休校に始まり、学校生活の制限が続きました。子ども達が楽しみにしていた多くの行事が中止や延期になり、最高学年の6年生には残念な思いをさせてしまったこと申し訳なく思っていました。

しかし、6年生はいつも前向きでした。できないことを嘆くのではなく、たとえ困難な状況であっても、学習に運動に一生懸命取り組み、前を向いて進みました。

会津への修学旅行では、自分達で計画を立て、友達と見知らぬ土地を歩きました。「自分達でやってみる。何かあったら助け合う」。その姿は、たくましく、心強いものでした。

陸上競技交歓会に向け、ひたむきに練習に取り組んだ姿も忘れられません。努力する姿に、何度も心を動かされました。

10月に延期となった運動会では、「みんなでつくる」を合言葉に自分達ができることを探し実行しました。今年で幕を閉じた鼓笛パレードも、子ども達の本気の思いがあったからこそ、最後を飾るにふさわしい心に響く演奏となりました。

式の中で、6年生には、これからも「夢や希望」を持ち続けてほしいと伝えました。人は「夢や希望」ある限り、前に進むことができます。ですから、自分の可能性を信じて、その未来を拓き、仲間と共によりよく生きてほしいと思います。



また、多くの人に支えられていること、その「感謝」の気持ちを忘れないでほしいということも伝えました。人は一人で生きることはできません。家族や仲間、地域の人々、先生方、たくさんの人に支えられていることをいつまでも忘れずに進んでほしいと思います。

9名の卒業生の未来が、輝かしいものとなることを強く願っています。

ありがとう！6年生

6年生は、学校の先頭に立って、たくさんのことにチャレンジしました。心からの感謝を込めて、写真で振り返る学事報告です。今日は存分に、ご家族で小学校生活の思い出を振り返ってください。改めて、ご卒業おめでとうございます。

